

民生委員・児童委員の活動紹介

豊かな地域を育む一助となるために～岩出市民生委員・児童委員協議会～

和歌山県社会福祉協議会では、県内の民生委員・児童委員及び民生委員・児童委員協議会の活動を順次ご紹介しています。

今回は、岩出市民生委員・児童委員協議会会長 津田 武志（つだ たけし）さんにお話をお伺いしました。

（取材日：令和元年8月2日）



■民生委員になられたきっかけはなんですか？

働いていた民間企業を早期退職した際に、前任の民生委員から声をかけられました。少しゆっくりしたいなあという気持ちもありましたが、地域のためという思いもあり引き受けることにしました。それから現在まで、8期(24年間)務めさせていただきました。

■普段はどのような活動をされていますか？

普段の活動は、地域の見守り活動や、学校行事への協力、また地域の高齢者世帯の調査協力などを行います。

また、岩出市民生委員・児童委員協議会の会長を拝命していることから、市役所や社協との調整業務なども行っています。



↑学校行事への協力風景

■活動を通じて、地域の課題はどのようなことだとお考えですか？

人口減少が大きな社会問題となるなか、岩出市ではこの 20 年間で 1 万人近く人口が増えました(令和元年 7 月末現在、53,877 人)。60 軒程度だった私が担当する地域も、現在は 200 軒以上となっています。

高齢人口比率は 21%と県内で最も低い地域となっていますが、昔から住んでいる住民が多い地域は高齢化が進み、地区によっては小学生が一人しかいない所もあります。

このように新旧の世帯が混在し、住民同士が接点を持ちづらく、地域行事への協力を得ることも難しくなっていることが岩出市の課題と考えています。

そのため、民生委員活動としても普段からの見守り活動や、顔の見える関係作りがとても重要だと感じています。

■民生委員・児童委員のやりがいはどういったことですか？

先日、学校行事への協力で、竹馬やお手玉などの「昔遊び」を子どもたちに教える機会がありました。民生委員の仲間やボランティアにも協力してもらい、参加した子どもたちには喜んでもらえたと思います。その際、子どもたちからお礼のメッセージをいただき、とても嬉しく思いました。

子どもたちは地域の宝です。豊かな地域を作るためにも、子どもたちが安心して住める地域にしたいと思います。

民生委員として、そのような地域作りの一助を担っていると思えると、とてもやりがいを感じます。



■民生委員のなり手不足について、どうお考えですか？

地域には素晴らしい人材がたくさんいると思います。そのような方々の情報を、どのように得るかを考えることが必要と感じています。

民生委員活動も同様ですが、日頃からアンテナを張って、出会いを大切に、広いネットワークを作っていくことが重要です。

また、和歌山県の制度で「**地域見守り協力員制度**」というものがあります。これは普段の生活の中で、見守りや声かけを行うなど、民生委員・児童委員と連携・協力するボランティア活動です。この協力員が地域に増えることで、民生委員一人ひとりの負担が軽減されます。民生委員は荷が重いとお考えの方も、まずは協力員として参画いただければ幸いです。

■今年の11月には一斉改選が控えていますが、新たに民生委員になる方へアドバイスをお願いします。

市町村単位や地域別に民生委員の集まりがあります。その場に参加し、コミュニケーションを取りながら、経験を積み、学んでいただきたいと思います。

また、活動で得た情報や、相談(困り事)なども一人で抱えずに、つなぐ姿勢も重要です。

活動で困ったことがあっても、1対1で解決するのではなく仲間に相談し、皆で解決していくことができるので安心してください。